

探究活動例に学び、感じる

9月9日に山口大学陳内准教授をお招きし、機会科1・2年生を対象に探究活動に関する講演を行いました。3年生の課題研究に向け、テーマ設定の考え方や課題解決へのアプローチを同じ高校生の事例を基に考えました。探究のテーマは何でも良く、対話と行動が重要など、目からうろこが落ちる時間になりました。ワークシートの気づきを見て、皆の感受性の強さに驚きました。「自分から行動する積極性、発想力で探求が深まる」「失敗は楽しい、アイデアや行動力をリスペクトし合うことが大事」「今できることに真剣になる」「課題研究で地域が活性化できる」など多岐に渡ります。テーマを与えるのではなく、五感を引き出す環境を提供することが、私たちの役割だと改めて感じました。



洗練されたデザインで盛り上げる

9月23日ホルトホールにて、「おおいたくらぶとりんく2025」のフライヤーデザイン表彰式を行いました。今年初めて開催された専門高校生による地域イベントで、小学生との交流を深めます。オープニングセレモニーでは、産業デザイン科の生徒3名が表彰されました。最優秀賞を受賞した飛田凜桜さん(2年生)は、構想から製作まで2週間で仕上げたということで、そのクオリティとスピードに驚かされました。このような専門技術を極めた高校生の姿が、次世代を担う小中学生にとって良い刺激になることを願っています。来年は、鶴工ブースを出展しましょう！



情報を活用するために

9月16日、1年生を対象に情報モラル出前授業を行いました。講師は、ハイパーネットワーク研究所矢野主任研究員です。SNSを活用するにあたり、守るべきルールを法律の観点から学びました。無断投稿による違法行為、著作権・肖像権の侵害、SNS詐欺の実態などについて学びました。グループワークも行いました。情報を正しく活用する力は、変化の激しい現代社会を生き抜く上で不可欠です。知識やモラルがなければ情報に振り回されます。日常的にスマホで見る情報が、パーソナライズされていると認識している人はどれほどいますか？日本は他国に比べかなり低いです。私の信条は「とにかく実践して学ぶ」ことです。



また、会おう！ 体験 soon 入学

9月28日に体験入学型オープンキャンパスを行いました。日曜日に関わらず、約500名の中学生が来校し、興味ある学科の実習体験を中心に、鶴工生との座談会や校内見学を楽しみました。各学科では、3年生が中心となり、日頃学んでいる専門技術を分かり易く、丁寧に教えていました。実習の間では、同じ出身中学校の先生の話で盛り上がったり、購買など学校生活に関する質問に答えている姿が見られました。単に技術を教えるだけでなく、世間話を交わしたり、学科の魅力をアピールするコミunicaはさすが鶴工生だと感心しました。広い校舎を歩き続けて下さった保護者、引率の先生方に感謝します。